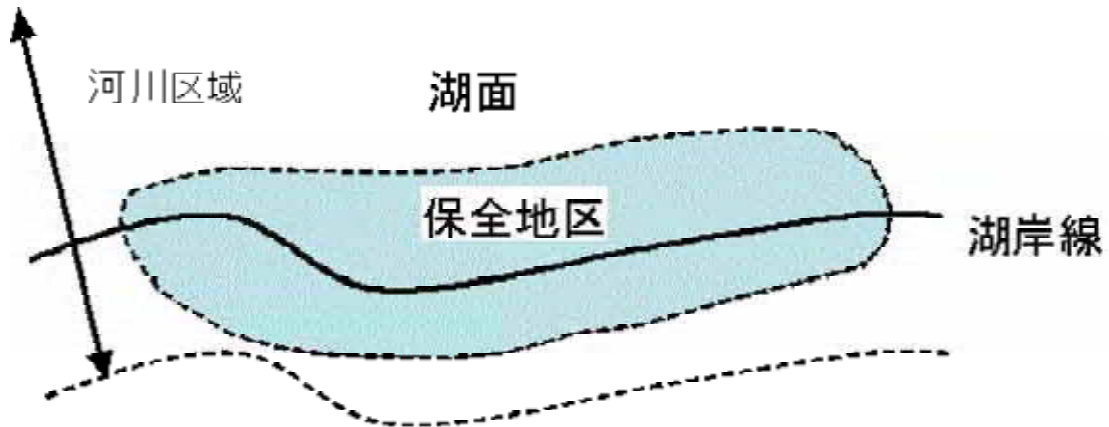


湖辺の植生を保全すべき地区の考え方

湖辺の植生を保全すべき地区のパターン

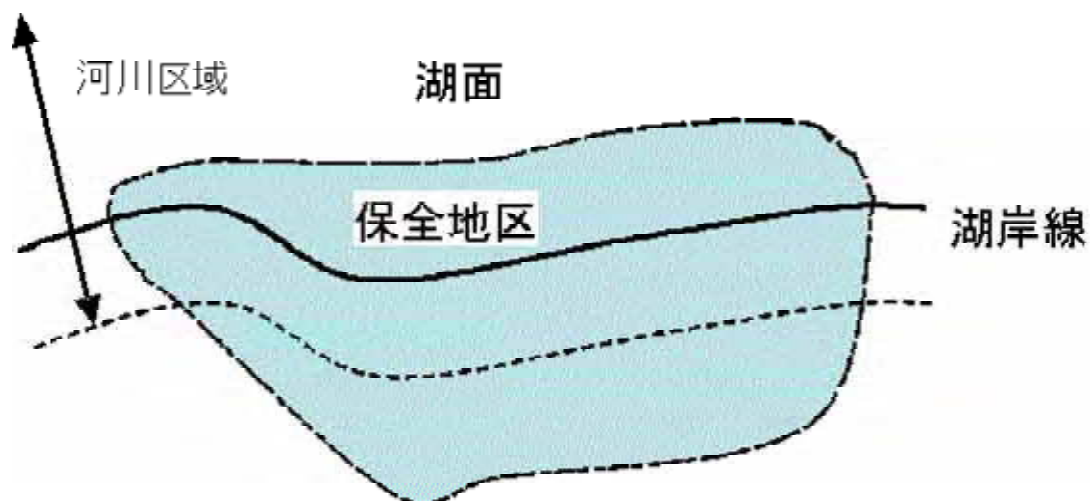
1．河川法上の河川区域内の湖岸を保全地区とするケース



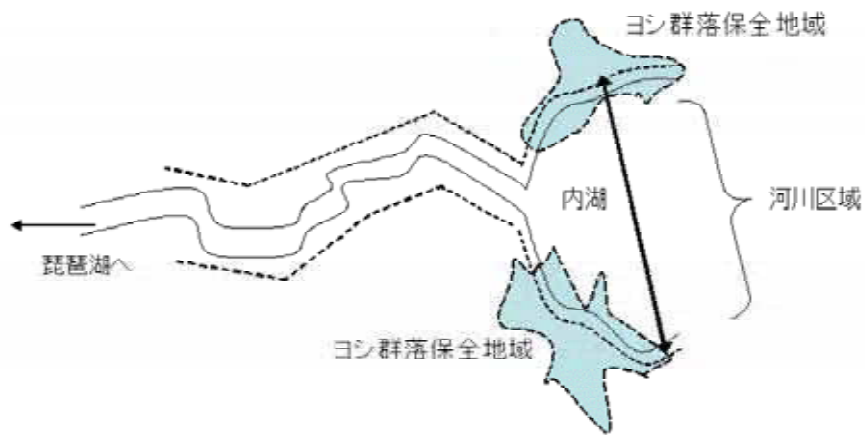
河川区域：河川法に基づいて指定される河川を構成する土地の区域。

2．河川法上の河川区域内の湖岸とその背後地まで含めて保全地区とするケース

植生が河川区域内だけでなくその背後地にまで及んでいる場合や、植生の管理のために必要な面積を確保する等のために、河川区域外も含めて保全地区とする場合が想定される。



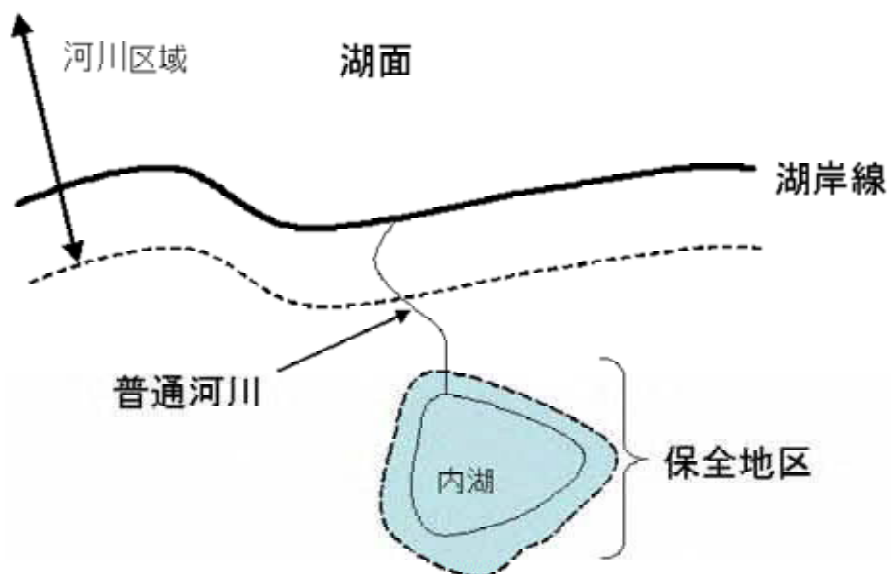
<事例> いばないこ
 滋賀県：伊庭内湖、西の湖



西の湖（滋賀県HPより）

3. 河川区域指定されている湖岸より内陸部に位置する内湖を保全地区とするケース

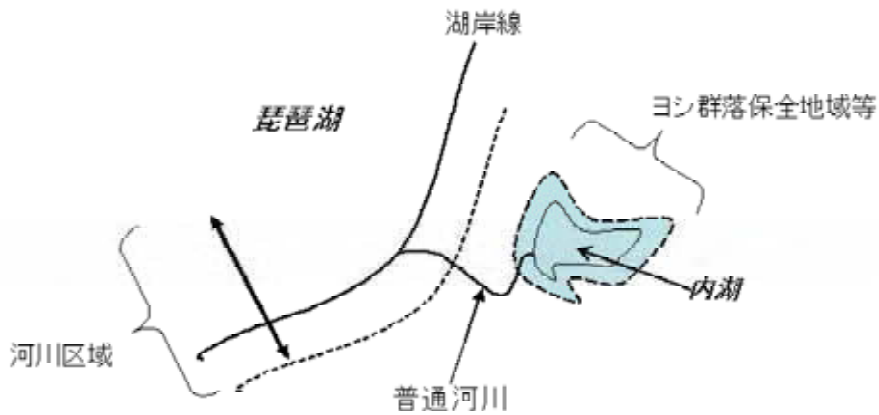
河川区域が指定されていない普通河川の上流に内湖がある場合、保全地区は河川区域外となる場合がある。



普通河川：河川法上河川でないものの一般的名称。

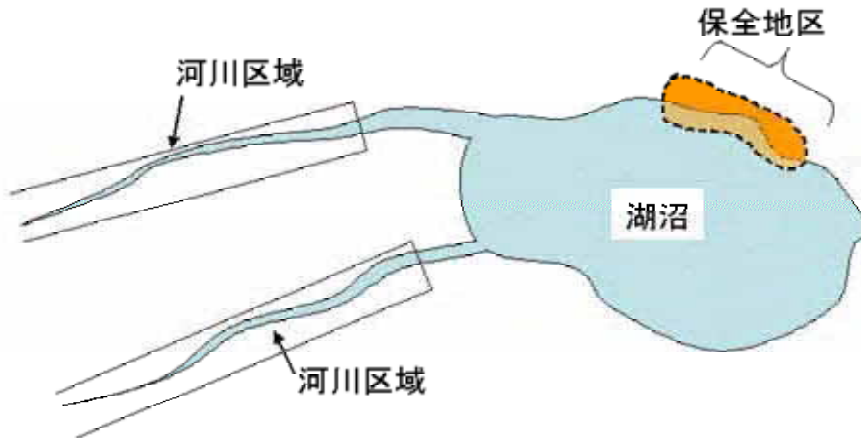
< 事例 >

滋賀県：野田沼（彦根市）、^{ぬげがわないこ} 曾根沼、^{はまぶんぬま} 貫川内湖、浜分沼



(4) 河川指定されていない湖沼の湖岸を保全地区とするケース

対象湖沼に河川区域存在しないため、保全地区は河川区域外となる。



河川指定されていない指定湖沼の例：児島湖



旧干拓堤防（国道30号線）より上流の流入河川が河川指定されている。